



新春 知事インタビュー  
 県民の皆さんと想いを一つにして  
 人・産業・地域が輝く、  
 たくましい長崎県をつくる

長崎県知事  
**中村法道**



「こちら県庁広報2課」  
**タナカハルナ** 課長

**国際交流についてはいかがですか**

昨年とは本県と中国上海市との友好交流関係樹立20周年という節目の年で、9月には上海市人民代表大會常務委員会の殷一璣主任をはじめとする12名の訪問団が来県され、孫文先生と宋慶齡夫人を描いた絵画をご寄贈いただきました。私も11月に上海市を訪問し、楊雄市長などの要人とお会いして、これまでの交流の歴史を振り返り、さらなる交流拡大について確認したところです(写真③)。そして今年には、日中国交正常化45周年であり、本県と福建省が友好県省を締結して35周年になります。友好をさらに深めるとともに、幅広い分野での交流を進展させたいと考えています。

また昨年10月、1年ぶりに「長崎—ソウル線」が再開しました。韓国から多くの観光客を呼び込むとともに、県民の皆さんも観光、ビジネスなどでご利用いただければと思います。さらに昨年3月には、対馬市・志岐市などで構成される「NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会」と韓国の釜山文化財団との共同作業により「朝鮮通信使関連資料」のユネスコ記憶遺産登録の申請が行われ、今年夏頃の登録を目指しています。

**「総合計画 チャレンジ2020」、今年の重点的な取組はどういったことですか**

昨年策定して2年目となりますので、計画に沿った取組をしっかりと進めていきたいと考えています。まずは、本県が直面している「人口減少」対策

「長崎県総合計画 チャレンジ2020」も策定から2年目に入り、さまざまな取組が動き出しています。県のかじ取りを行う中村知事に、県政テレビ番組「こちら県庁広報2課」のタナカハルナ課長が話を伺いました。

**2016年を振り返って  
 印象に残った出来事は何ですか**

4月に熊本地震が発生し、熊本・大分両県を中心に多くの方々が被災されたことです。あらためて被災された皆様にお見舞いを申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。本県でも発生直後から職員を派遣し、被災地の復旧・復興支援に取り組んでいます。また、熊本地震により建物の耐震化や避難所の運営などの課題が指摘されていることから、本県としても地域防災計画の見直しを含め、万全な防災対策を講じていきます。

うれしい出来事といえば、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの本県出身者の活躍です。オリンピックでは、内村航平選手が体操男子団体総合の金メダル、そして、個人総合でも見事2連覇を達成しました(写真①)。永瀬貴規選手は、柔道男子81キログラム級で初出場ながら銅メダルを、また、パラリンピックでは、木谷隆行選手がボッチャ競技で銀メダルを獲得されました。県民の皆さんに大きな夢と感動を与えてくれたことを大変うれしく思い、次の東京大会につながっていくことを願っています。

また、10月には、「ねんりんピック長崎2016」が本県で初めて開催され、県内外から55万人を超える方々の参加があり、大盛況のうちに幕を閉じました(写真②)。さらに、10月から12月まで県や各市町、観光関係団体などとJRグループが協力して「長崎デスティネーションキャンペーン」を開催しました。県民の皆さんとともに「おもてなしの心」で多くのお客様をお迎えし、本県の魅力を伝えることができました。

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」については、昨年夏の世界遺産登録を目指していましたが、ユネスコの諮問機関であるイコモスの中間報告で「禁教期に焦点をあてて推薦内容を見直すべき」との指摘がなされ、確実な登録を目指すため、一旦、推薦を取り下げ、内容を見直しました。また、苦渋の決断ではありませんが、構成資産を14から12に見直し、名称も「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に変更しました。今年には正式版の推薦書を提出し、イコモスの現地調査を経て、平成30年の登録実現を目指します。県内で2つ目の世界遺産誕生となるよう関係市町と一体となって全力で取り組んでいきます。

また、今年度から「婚活サポートセンター」の体制を強化するなど、県民の皆さんが結婚から妊娠、出産、子育て等の希望をかなえることができる環境整備に力を入れていきます。さらに、有人国境離島法が本年4月1日から施行されます。この法律により、離島の航路・航空路運賃等の低廉化や雇用機会の拡充などが見込まれていますので、離島地域の多様な地域資源を生かしながら、就業や雇用の場を作り出し、人口減少対策に取り組めます。

そして現在、整備を進めている新しい県庁舎が11月末に完成予定です。新庁舎での業務は来年1月から開始予定です。新庁舎は、防災拠点としての機能を果たすとともに、県民の皆さんに親しんでいただける庁舎を目指しています。

**県民の皆さんへメッセージをお願いします**

「たくましい長崎県をつくる」という目的のため、「総合計画 チャレンジ2020」を策定し、さまざまな政策に取り組んでいます。いづれの取組においても、県民の皆さんのご理解やご協力が欠かせませんので、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

この一年が皆さんにとりまして素晴らしい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」については、昨年夏の世界遺産登録を目指していましたが、ユネスコの諮問機関であるイコモスの中間報告で「禁教期に焦点をあてて推薦内容を見直すべき」との指摘がなされ、確実な登録を目指すため、一旦、推薦を取り下げ、内容を見直しました。また、苦渋の決断ではありませんが、構成資産を14から12に見直し、名称も「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に変更しました。今年には正式版の推薦書を提出し、イコモスの現地調査を経て、平成30年の登録実現を目指します。県内で2つ目の世界遺産誕生となるよう関係市町と一体となって全力で取り組んでいきます。

**世界遺産登録について  
 今後の予定はどうなっていますか**

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」については、昨年夏の世界遺産登録を目指していましたが、ユネスコの諮問機関であるイコモスの中間報告で「禁教期に焦点をあてて推薦内容を見直すべき」との指摘がなされ、確実な登録を目指すため、一旦、推薦を取り下げ、内容を見直しました。また、苦渋の決断ではありませんが、構成資産を14から12に見直し、名称も「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に変更しました。今年には正式版の推薦書を提出し、イコモスの現地調査を経て、平成30年の登録実現を目指します。県内で2つ目の世界遺産誕生となるよう関係市町と一体となって全力で取り組んでいきます。



③ 楊雄上海市長(写真右)と両国民の相互理解を深め交流を進展させることについて話し合いました



② 「ねんりんピック長崎2016」の総合開会式で入場行進をする長崎県選手団



① 県民栄誉賞特別賞の表彰状を受け取る内村選手(写真左)

県政テレビ番組『こちら県庁広報2課』(NBC)もご覧ください  
 〈放送日〉【年末編】12月24日(土) 21:54～・25日(日) 22:48～・28日(水) 19:50～  
 【年始編】1月14日(土) 21:54～・15日(日) 21:54～・18日(水) 18:55～

よかテレ 検索

※編成の都合上、放送日・放送時間は変更になる可能性があります

